

カネボウ化粧品 「朝のUVケア事情」調査

新UVケア元年
到来！！

現代女性の朝のUVケア事情の実態

これからは紫外線による「シミ」はもちろん、「シワ」からも顔を守りたい！

カネボウ化粧品は、総合スキンケアブランド「suisai(スイサイ)」から日中用の多機能エイジングケア※UV美容乳液「suisai パーフェクトUVデイエマルジョン」を3月16日に発売します。発売にあたり、20～49歳の女性計450名に、「朝のUVケア事情」に関する調査を実施しました。

心浮き立つ春は目前。暖かくなるにつれて気になってくるのが外出時の「UV（紫外線）対策」です。一昔前までは「夏」や「レジャー」のイメージが強かったUV対策ですが、近年は年間を通じて日常的に行うものへと意識が変わってきています。今回の調査では、UV対策を行う朝、家事や育児、ヘアメイクなど、毎日忙しい女性たちの実態についても聞いてみました。

今年1月には、シミやシワといった老化につながるとされるUVAの防止効果を表す「PA」の上限値が「PA+++」から「PA++++」に変わりました。暖かい日差しがのぞく春の訪れとともに、「エイジングケアもできるUVケアアイテム」への注目が例年以上に高まっていくことが予想され、2013年は「新UVケア元年」の幕開けとなりそうです。

※エイジングケア：年齢に応じた化粧品効果によるお手入れのこと。

調査結果概要

【朝の実態編】

★ 朝の「15分」で働く女性は「女」になる

今どきの多忙な女性の「朝の実態」について聞いてみました。

朝起きてから家を出るまでに欲しい理想の時間は「約1時間30分」。実際の所要時間に「あと10分」ちよい足しするのが理想のようです。忙しい朝の時間の中で、スキンケア～メイクアップまでにかかる時間は「15分」。多機能化粧品を使って「時短」している人は4割を超え、貴重な朝の時間を有効に使う働く女性の奮闘ぶりが浮き彫りになりました。

また、もし寝坊してしまった日でも、ベースメイクや日やけ止めだけは欠かさず、「無防備な肌では外出はしない」という女性たちの紫外線に対する高い意識がわかる結果となりました。

【UVケア編】

★ 忙しい現代女性もUVケアはルーティーンワーク

普段からUV対策をしている女性たちは、季節を問わず年間を通じてUV対策を怠らないことが明らかになりました。日やけ止めに加えてUVケア効果のある化粧品を複数使用するなど、今やUVケアアイテムは女性の必需品です。新基準を導入した「PA++++」の商品を使ってみたいと思う人は7割を超え、「新UVケア元年」に対する高い期待の表れと言えます。

【エイジングケア編】

★ 紫外線による「シミ」「シワ」から「顔」を守りたい

紫外線を浴びることで特に気になるのは、「顔」の「シミ」や「シワ」。8割近くの女性が紫外線を浴びることによる肌老化を感じており、UVケアにエイジングケアは切り離せないものと言えます。

調査結果

朝の実態編 ※有職女性のみ回答

- 「おしゃれ」と「朝ごはん」が働く女性の元気の源 <Q1>
- 起床から出勤まで、理想は約1時間30分 <Q2>
- 働く女性の朝の美容時間は約15分 <Q3>
- 寝坊してもベースメイクだけは欠かせない <Q4>
- 朝の30分が買えるなら、1,000円払っても惜しくない <Q5>
- 多忙な女性の心強い味方は「時短できる多機能化粧品」 <Q6>

UVケア編

- 「日常的にUV対策をしている」女性は6割以上 <Q7>
- UV対策は1年中するのが当たり前 <Q8>
- 日差しの強い季節、UVケアアイテムは「毎日」使う必需品 <Q9>
- UV対策開始年齢は平均22歳から <Q10>
- UV対策3種の神器は「日やけ止め」「UV効果のある化粧品」「日傘」 <Q11>
- 「日やけ止め+α」、UV対策は複数アイテムを駆使 <Q12>
- なじみ深い「SPF」、加えて「PA」も重視したい <Q13>
- 「SPF」と「PA」の違いを知っている人は約4割 <Q14>
- 新基準「PA++++」の認知率は1割 <Q15>

エイジングケア編

- 「通勤」は紫外線との戦い <Q16>
- 紫外線の3大恐怖は「シミ」「肌の黒化」「シワ」 <Q17>
- 紫外線から一番守りたいのは「顔」 <Q18>
- 8割近くが紫外線による肌老化を実感 <Q19>
- 「紫外線」にも「加齢」にも負けないUVケアアイテムを使いたい <Q20>

調査概要

調査対象 : 全国の20歳～49歳の女性450名（各世代 有職女性100名、専業主婦50名）

調査形式 : インターネット調査

調査時期 : 2013年1月

本調査結果をご紹介いただく際は、「カネボウ化粧品調べ」と明記いただくようお願い致します。

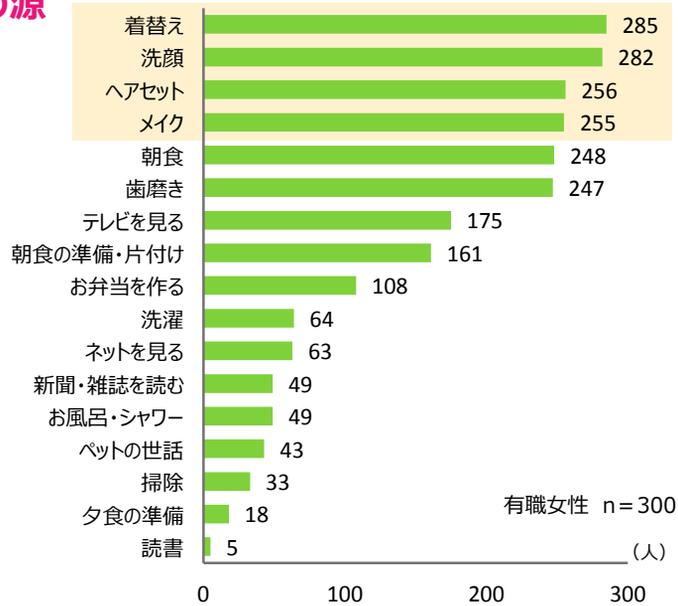
調査結果【朝の実態編】

朝の「15分」で働く女性は「女」になる

Q1 朝、目覚めてから出勤までの家での行動を教えてください。(MA)

□ 「おしゃれ」と「朝ごはん」が働く女性の元気の源

女性の朝のルーティンワークはやはり身じたく。ヘアセットやメイクは朝食と同じくらい重要なようです。また、働く女性に欠かせないアイテムは「テレビ」(58.3%)と「ネット」(21.0%)。天気や交通情報など通勤に必要な情報を多忙な時間をやりくりして入手しているようです。

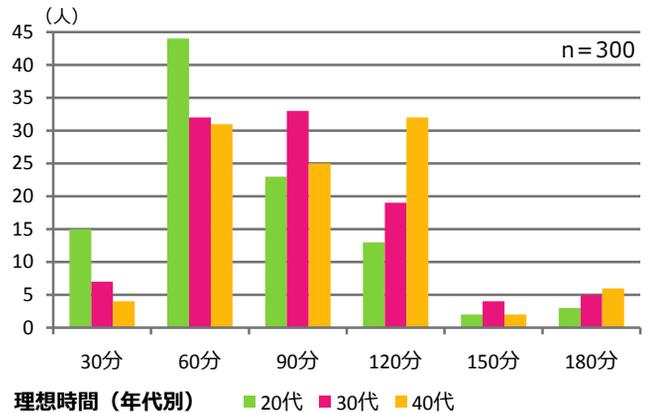


Q2 朝起きてから家を出るまで、どれくらい時間があるのが理想ですか？(分/NU)

□ 起床から出勤まで、理想は約1時間30分

働く女性が朝起きてから家を出るまでに欲しい理想の時間は、平均で90分弱となりました。

平均時間	回答数	現実 (分)	理想 (分)
全体	300	77.32	86.03
20代	100	63.32	76.56
30代	100	74.10	87.16
40代	100	94.55	94.38



Q3 朝のスキンケア～メイクアップまでにどのくらい時間をかけていますか？(分/NU)

□ 働く女性の朝の美容時間は約15分

毎日忙しい「朝」、スキンケア～メイクアップにかかる時間は平均で約15分でした。各ステップの所要時間を年代別にみると、20代はメイクアップに最も時間をかけているのに対して、30・40代はエイジングケアに対する意識の違いからでしょうか、スキンケアにより時間をかけていることがわかりました。

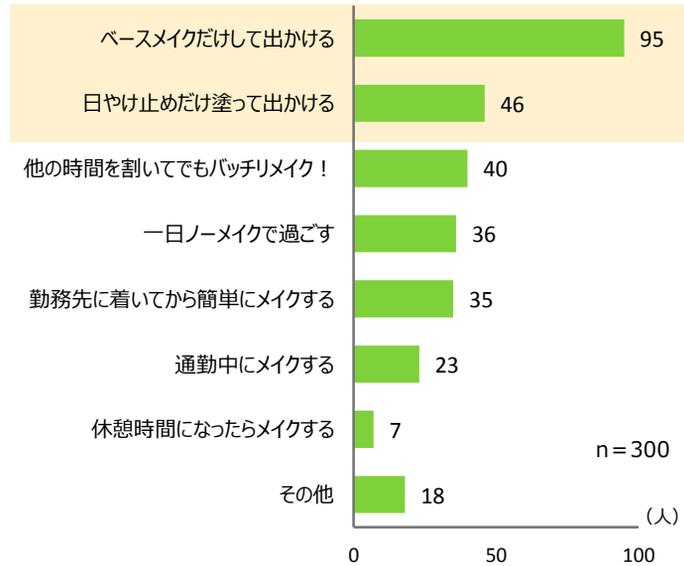
平均時間	回答数	スキンケア (分)	ベースメイク (分)	メイクアップ (分)	合計 (分)
全体	300	5.27	4.43	4.94	14.64
20代	100	5.88	4.90	7.10	17.88
30代	100	5.18	4.62	4.28	14.08
40代	100	4.75	3.76	3.44	11.95

調査結果【朝の実態編】

Q4 「寝坊した！」そんな日のメイクはどうしていますか？（SA）

□ 寝坊してもベースメイクだけは欠かせない

つい寝坊しがちな春。そんな日の朝はメイクはどうしているのでしょうか。3割以上の方が「ベースメイクだけして出かける」と回答。最低限の「見た目+UV対策」といったところでしょうか。



Q5 朝の30分がお金で買えるとしたら、いくら払いますか？（円/NU）

□ 朝の30分が買えるなら、1,000円払っても惜しくない

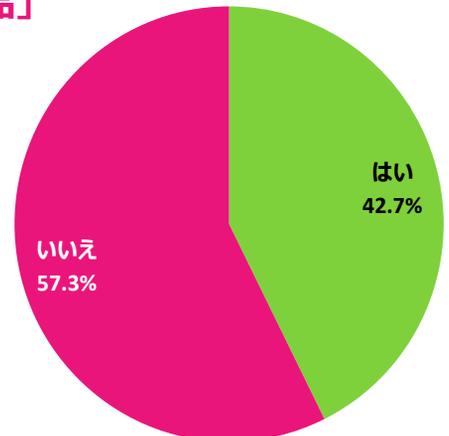
働く女性にとってまさに戦場のような「朝」ですが、お出かけ前の「30分」をお金で買えるとしたら、いくら払うかを聞いてみました。平均金額は約1,000円。「ランチ代くらいであれば払ってもいいから、もっと朝に時間が欲しい！」といった女性たちの切実な叫びが聞こえてくるようです。

	回答数	平均金額 (円)
全体	300	1031.57
20代	100	1539.90
30代	100	846.04
40代	100	712.42

Q6 1品で複数の機能を持つような「多機能化粧品」を使用していますか？（SA）

□ 多忙な女性の心強い味方は「時短できる多機能化粧品」

BBクリームヒットは記憶に新しいところですが、複数のステップが1品ですむ商品が続々と登場し、多忙な女性の味方になっています。これらの多機能化粧品を使用している人は、4割を超えました。

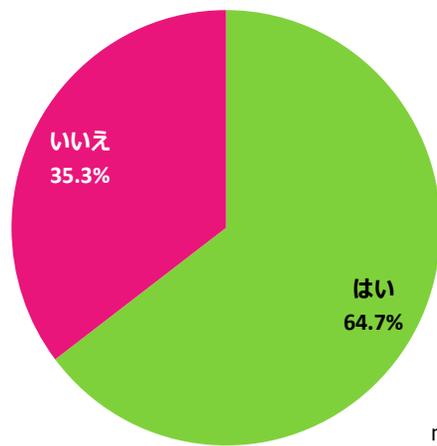


忙しい現代女性もUVケアはルーティーンワーク

Q7 現在日常的にUV対策をしていますか？（SA）

□ 「日常的にUV対策をしている」女性は6割以上

紫外線量が最も少ない1月に調査したにも関わらず、全体で6割以上の方が「日常的にUV対策をしている」と回答。現代の女性にとってUV対策は欠かせないようです。

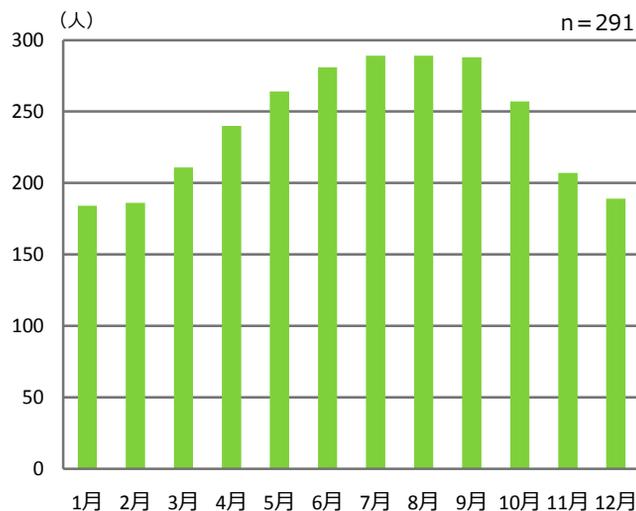


n = 450

Q8 年間でUV対策をしている期間はいつですか？（月/NU）

□ UV対策は1年中するのが当たり前

「日常的にUV対策をしている」と答えた人にUV対策をしている月を聞いてみると、ほぼ1年中UV対策をしている実態が明らかになりました。かつてはUV対策といえば、海やキャンプなど夏のレジャーが中心でしたが、昨今では年間を通じて日々のお手入れに組み込まれているようです。

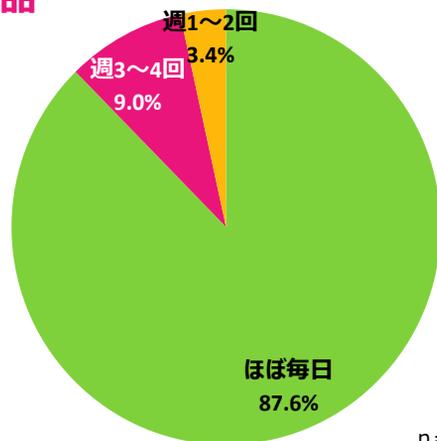


n = 291

Q9 春～夏にかけての時期、どれくらいの頻度でUVケアアイテムを使用していますか？（SA）

□ 日差しの強い季節、UVケアアイテムは「毎日」使う必需品

UVケアに敏感な女性たちの9割近くが、春～夏の日差しが強い時期にはUVケアアイテムを「ほぼ毎日使う」と回答しました。



n = 291

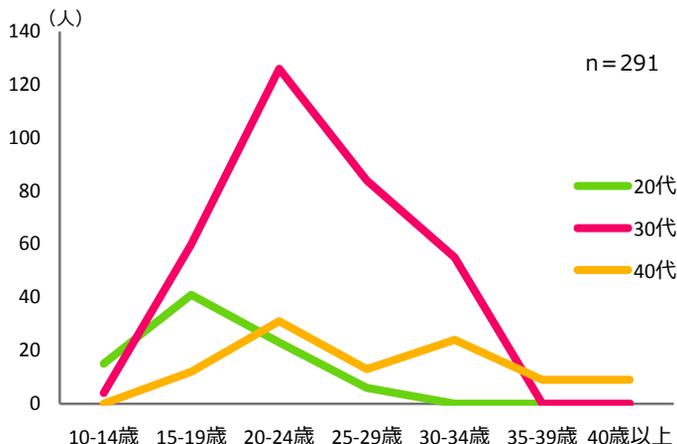
調査結果【UVケア編】

Q10 日常的にUV対策をするようになったのは何歳頃からですか？（歳頃/NU）

□ UV対策開始年齢は平均22歳から

日常的にUV対策をしている女性に、何歳頃からUV対策をするようになったか聞いてみました。平均は22.05歳。早い人で10歳、遅い人は45歳という結果に。また、UV意識の違いからでしょうか、年代別では、若い世代ほど開始時期が早い傾向が見られました。

	回答数	平均
全体	291	22.05
20代	85	17.54
30代	108	21.60
40代	98	26.45

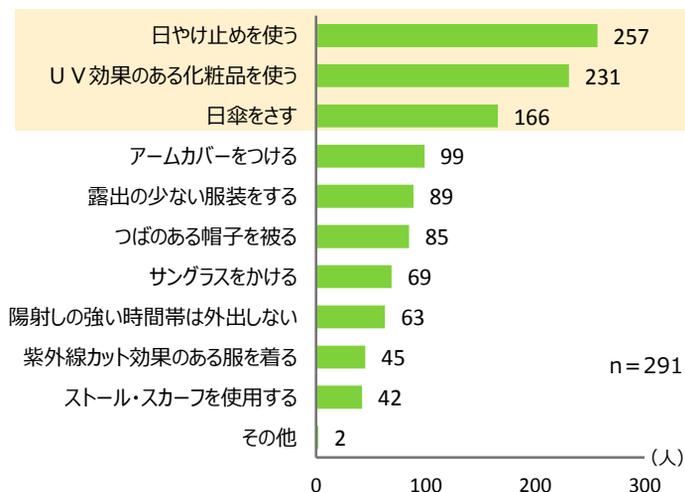


Q11 どんなUV対策をしていますか？（MA）

□ UV対策3種の神器は「日焼け止め」「UV効果のある化粧品」「日傘」

実際にどんなUV対策をしているのでしょうか。1位は「日焼け止めを使う」というストレートな回答。2位は「UV効果のある化粧品を使う」で、日常使いしているスキンケアやベースメイクでUV効果のあるものを使用。

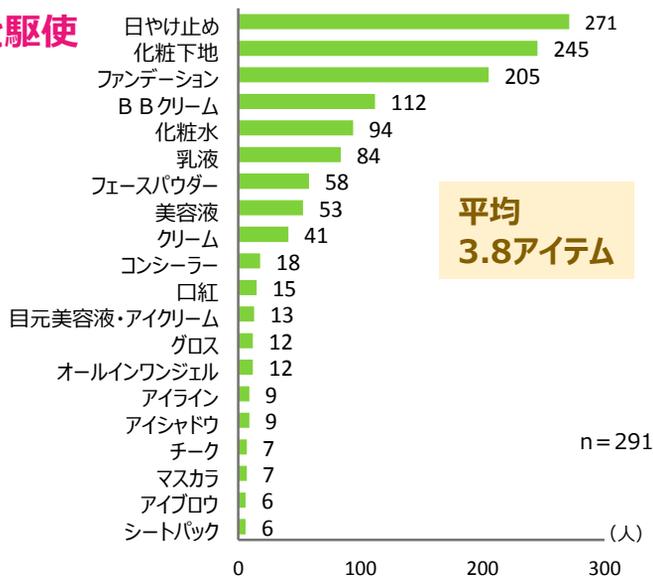
化粧品以外の対策としては、3位に「日傘をさす」、4位に「アームカバーをつける」などが選ばれました。



Q12 普段使用している化粧品の中で、「UVケア効果」のあるものはどれですか？（MA）

□ 「日焼け止め+α」、UV対策は複数アイテムを駆使

毎日たくさんの化粧品を使っている女性たちですが、その中で「UVケア効果」のあるものは平均3.8アイテムあることがわかりました。「日焼け止め」はもちろん、ベースメイクやスキンケアでもUVケア効果のあるものを複数駆使して、紫外線から肌を守る「鉄壁」の対策をしているようです。



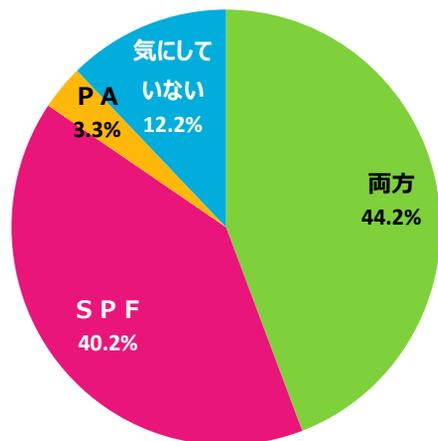
調査結果【UVケア編】

Q13 SPFとPAのどちらの数字や記号を重視して購入していますか？（SA）

□ なじみの深い「SPF」、加えて「PA」も重視したい

紫外線防止効果を表す「SPF」と「PA」。UVアイテムを購入する際には、どちらが重視されているのでしょうか。

「両方」と答えた人が4割を超えトップとなりましたが、「SPF」「PA」比較ではダントツで「SPF」に軍配。「PA」表示が始まる前から使われている「SPF」がなじみ深いためと思われます。

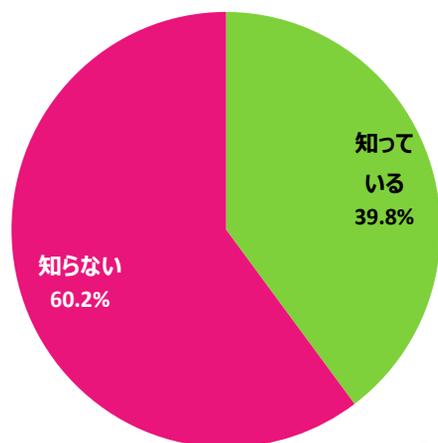


n = 450

Q14 UVケアアイテムに記載している「SPF」と「PA」の違いを知っていますか？（SA）

□ 「SPF」と「PA」の違いを知っている人は約4割

「SPF」も「PA」も紫外線防止効果の程度を示しています。「SPF」は紫外線B波、「PA」はA波から肌を守る効果を表します。両者の違いを認識していると回答した人は約4割。今年から「PA++++（4プラス）」という高い基準が加わり、今後ますます関心を集めそうです。



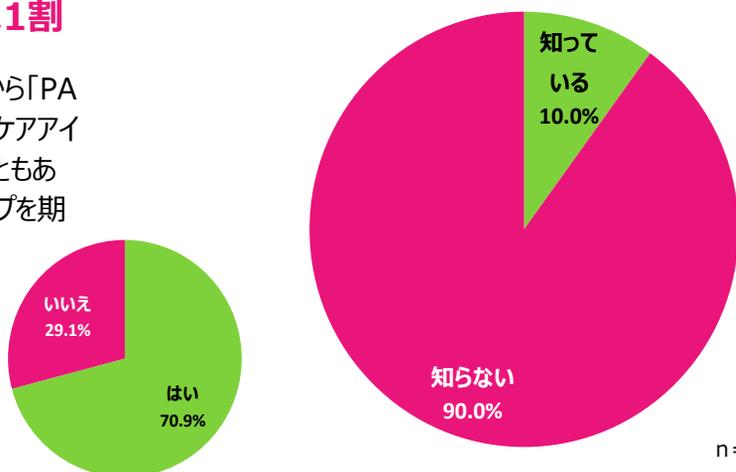
n = 450

Q15 2013年1月よりPA値の最高レベルが新たに「PA++++」になることを知っていますか？（SA）

□ 新基準「PA++++」の認知率は1割

今年1月からPA値の上限レベルが「PA+++」から「PA++++」に上がりました。当調査は新基準のUVケアアイテムの商品がまだ発売していない時期に実施したこともあり、認知率は1割と低い結果に。今後の認知率アップを期待したいところです。

「PA++++」は最高レベルのUVA防止効果が得られますが、使用してみたいですか？（SA）



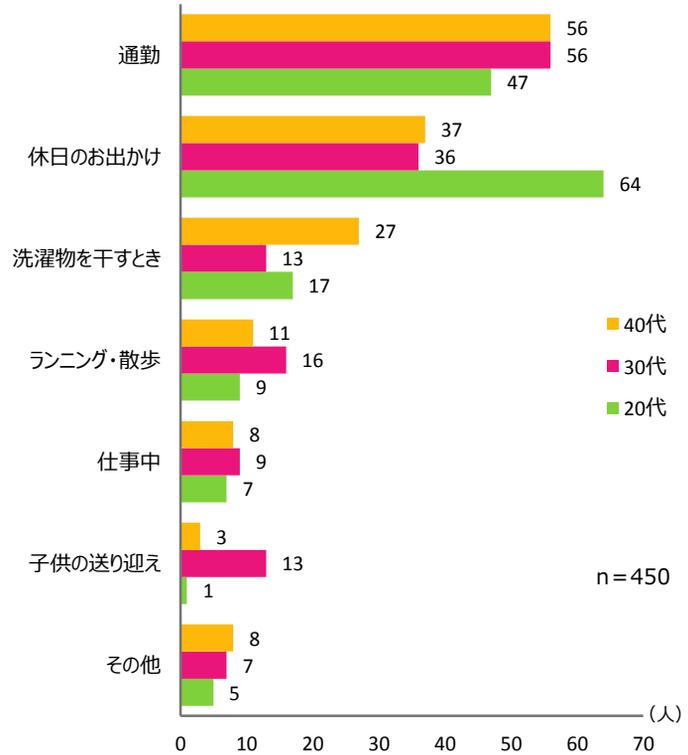
n = 450

紫外線による「シミ」「シワ」から「顔」を守りたい

Q16 日常生活の中で最も紫外線が気になるのはどんなシーンですか？（SA）

□ 「通勤」は紫外線との戦い

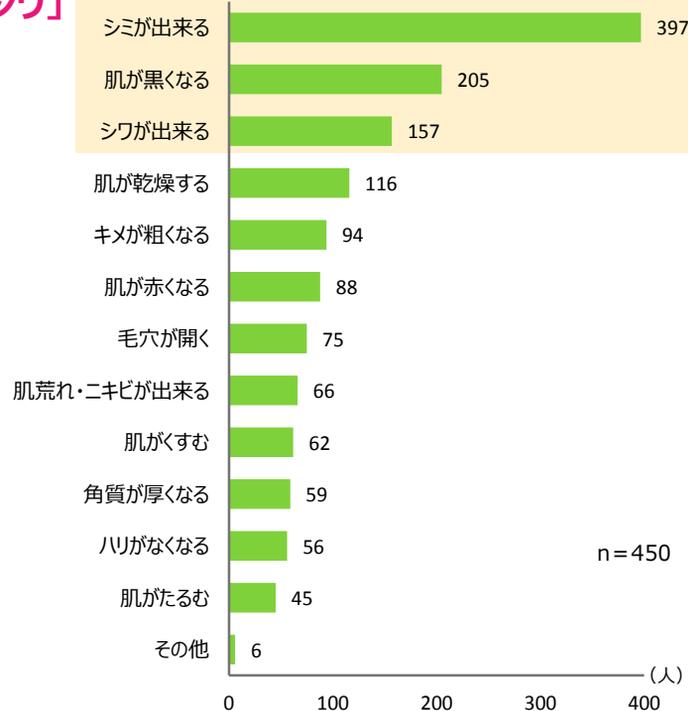
日常生活の中でも油断大敵な紫外線。女性は日常のどんなシーンに気をつけているのでしょうか。「通勤」（35.3%）、「休日のお出かけ」（30.4%）、「洗濯物を干すとき」（12.7%）が上位に挙げられました。



Q17 紫外線を浴びることで、肌へのどんな影響が気になりますか？（MA）

□ 紫外線の3大恐怖は「シミ」「肌の黒化」「シワ」

紫外線による肌への影響で女性が気にするトップは「シミが出来る」（88.2%）で、9割近くの方が挙げています。次に「肌が黒くなる」（45.6%）、「シワが出来る」（34.9%）と続きます。紫外線を浴びると、炎症を起こして赤くなったり、黒く日やけしてしまうことだけでなく、様々なトラブルが生じてくるという認識が持たれているようです。

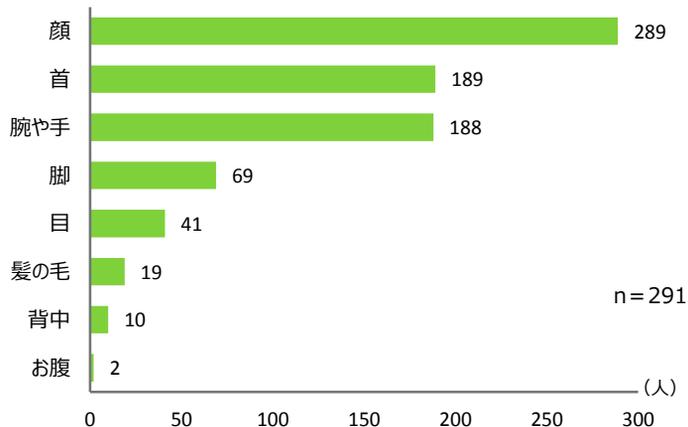


調査結果【エイジングケア編】

Q18 UV対策をしている身体のパーツはどこですか？（MA）

□ 紫外線から一番守りたいのは「顔」

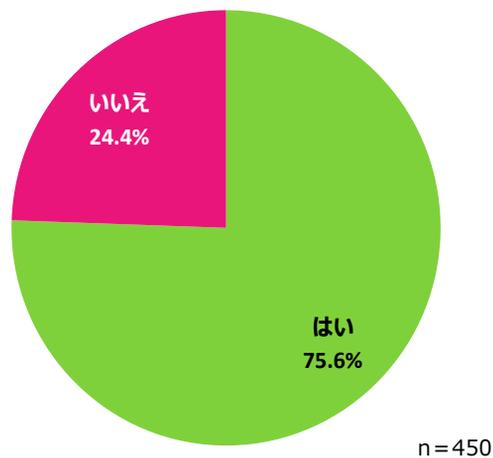
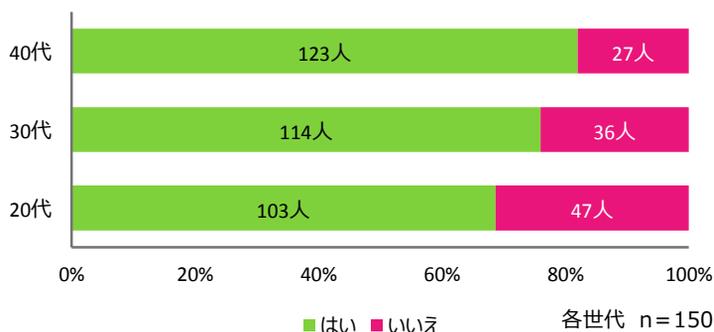
日常的にUV対策をしている人に、UV対策をしている身体のパーツを聞いたところ、ほぼ全員が「顔」（99.3%）を挙げました。次に「首」（64.9%）、「腕や手」（64.6%）と続きます。



Q19 紫外線を浴びることで、肌は老化すると感じていますか？（SA）

□ 8割近くが紫外線による肌老化を実感

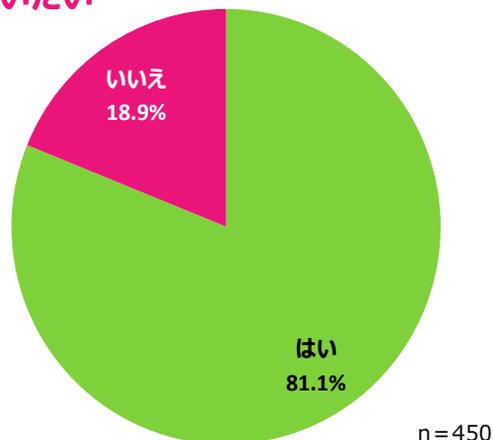
紫外線による肌の老化は定説となっていますが、女性ほどの程度身をもって実感しているのでしょうか。全体で8割近くの人が紫外線を浴びることでの肌老化を感じると答えました。



Q20 UVケアアイテムに「エイジングケア効果」がプラスされた商品を使用してみたいですか？（SA）

□ 「紫外線」にも「加齢」にも負けないUVケアアイテムを使いたい

紫外線の影響を「肌老化」として実感している女性が多い中で、毎日使用するUVケアアイテムで「エイジングケア」ができればまさに一石二鳥です。そんな紫外線にも、加齢にも負けないアイテムを使用してみたいと答えた女性は、8割を超えました。



女性のこだわりがUVケアを進化させる

ここ最近のUV化粧品の進歩には目を見張るものがあります。まず、パワーアップした紫外線カット効果、ベタつきがなく白浮きしない快適な使用感など。このように完成度が高い商品が生まれてきた背景には、消費者である女性たちの、果てしない美へのこだわりと快適な生活をしたいという気持ちがあることを否定できません。

加えて、働く女性が増えたことによりメイク時間を効果的に短縮したい、化粧品を経済的に賢く使いたいなどの要望も出てきました。

今回の調査でも、こういった女性の声随所表れています。また、朝の実態を聞いた調査では「寝坊してもベースメイクだけは欠かせない」や「1,000円払っても朝の30分が欲しい」など健気な奮闘ぶりが垣間見られます。

さらに今年は、シミ・シワといった老化につながるとされるUVA防止効果を表す「PA」の上限表示が変更されることもあり、エイジングケア機能をプラスしたUVケアアイテムは注目されるでしょう。カネボウ化粧品では、このような女性の意識やニーズに応えるUVケアアイテムを開発。「suisaiパーフェクトUVデイエマルジョン」として発表します。



カネボウ化粧品 美容研究所長 中島礼子

◇中島礼子（左写真） 略歴

カネボウ化粧品 美容研究所長。メイクアップブランドのマーケティング、商品開発担当を経て、現在に至る。

◇カネボウ化粧品 美容研究所

1962年設立の社内機関。化粧意識調査やトレンド予測、メイクアップやスキンケアの技術開発、商品開発のサポート、ポスターや雑誌等でヘアメイクを担当する等、幅広く活動しています。

朝の多機能 エイジングケアUV美容乳液

化粧水のあとこれ1本。

紫外線によるシミを防ぎ、うるおい透明ハリ肌へ

suisai パーフェクトUVデイエマルジョン I・II
35g 各3,400円〈税込3,570円〉

■商品特長■

- ①SPF50+ PA++++ 最新基準の高い紫外線カット効果
- ②エイジングケアUV美容乳液
紫外線によるシミを防ぎ、うるおい透明ハリ肌に
- ③朝、化粧水の後、これ1本の多機能性
- ④好感触。たっぷりうるおうウォーターベース処方

※エイジングケア：年齢に応じた化粧品効能によるお手入れ

